

若者 子ども 夢会議！

【日時】令和6年10月27日【場所】廿日市市民ホール

10年後の廿日市市の姿を記事にした「廿日市ミライソウゾウ夢新聞」を作成しました！

News letter

当日の様子

最初に流れを説明をした後、新聞づくりが始まりました。序盤は、どのグループもテーマ決めや記事の内容を考えるのに苦戦しているようでしたが、いざ記事を書き始めると、猛烈なスピードで新聞記事が出来上がっていききました！！最後は、素敵な新聞が4紙できあがり、全員で内容を共有しました。



これまで、2回のワークショップを通じて、参加者の皆さんと「廿日市市の理想の姿」、「理想の姿の実現に向けたアイデア」を考えてきました。今回は、これまで考えてきた内容をもとに、10年後の廿日市市の姿を想像し、どんなまちになっているかを新聞記事の形で表現しました！

若者子ども夢会議の流れ

第1回

9月7日（土）14：00～16：00
テーマ「廿日市 **実施済み**
・将来の自分を想像し、実現したい夢や将来の姿を考える
・これから廿日市市が目指すべき、まちの姿を考える

第2回

10月5日（土）14：00～16：00
テーマ「夢の実現に向けて取り組むこと」
実施済み
・夢を実現する強み・弱みや課題を分析
・夢の実現のため取り組むべきことを行政・地域・自分達それぞれの視点で検討

第3回

10月27日（日）14：00～16：00
テーマ「若者子ども夢新聞を作ろう」
・第1回、第2回で話し合った内容をもとに10年後を想像して、新聞記事をつくります！

廿日市 **ミライソウゾウ** 夢新聞

本日のプログラム

1. 開会あいさつ
2. 前回のふりかえり
3. 流れの説明
4. ワークショップ
「若者子ども夢新聞をつくろう！」
5. 全体共有
6. 閉会あいさつ

最初に新聞づくりの内容について説明



「どんなテーマにしようか」「何を書こうか。」悩み中。。



記事の内容が決まって、新聞づくりスタート！早速立ち上がって、サクセンカイギをするグループも！



最後の1秒まで真剣な新聞づくりが続きました...!



新聞の内容を発表！どのグループの発表も熱がこもっていて素晴らしかったです



若者子ども夢会議の参加者の皆様！

3回のワークショップ、お疲れ様でした。10年後のまちの姿を考えるというテーマを通じて、皆さんが廿日市市の将来に期待することをしっかり受け取らせていただきました。今後も廿日市市では、まちづくりを市民の皆様とともに進める企画を検討していきますので、機会があれば、ぜひ参加してみてください！

グループ1 つながりのまち 廿日市

つながりのまち 廿日市

市立廿日市大学主催の 企業交流イベントが開催!!

〇月×日廿日市大学企業交流イベント実行委員
主催による地元企業との交流イベントが開催されました。
廿日市を代表する企業〇〇、□□、△△など
20社が参加し、企業体験ブースを出店しました。
企業体験ブースではオリジナルの〇〇を作ること
普段あまり知られていない企業について知る機会と
なりました。企業説明ブースでは実際働く方から
生の声を聞き、これからの就職先の選択の幅を広げる
きっかけとなりました。

地元企業と地元学生との交流深まる

〇〇社△△さんに
お話を伺いました!!

Q. どの様な経緯で今回参加されたのか?
A. 実行委員の〇〇さんから声をかけたので、
廿日市のみならず、他市の企業についても
知っていました。最近に感じてほしいと思う
企業について、この人がブースに足を運んで
くれたらいいな、と。
Q. 次回以降もあれば参加の予定ですか?
A. 次回以降もあれば参加の予定です。もし
いろいろ他市の人も来て、ブースをつくって
みたいですね!! ととても楽しみにしています。

大学4年生〇〇さん
イベントへの思い

Q. なぜこのようなイベントを開催し
たのでしょうか?
A. 地元廿日市で活躍されている
企業について知りたかったからです。
Q. イベントを終えて何か得られた
ことはありますか?
A. 廿日市に素晴らしい企業が沢山
あるという事を改めて知ることができ、
今後、地元での就職を考えるきっかけ
となりたい。参加した企業の様子がとても
いいな、と。

廿日市国際フェスティバル開幕!

〇月×日廿日市市国際交流協会主催の
イベント「廿日市国際フェスティバル」が開催され
ました。このイベントでは、フードフェスティバルと
民俗衣装体験が行われ、1000人以上が来場しました。
フードフェスティバルでは、世界から20ヶ国の出店が
あり、廿日市在住の外国人が腕ふるったベトナムの
「フォー」やフィリピン・インドネシアの家庭料理も
振る舞われました。
民俗衣装体験では、日頃着ることのできない
衣装を実際にその国の人から着せてもらう
ことができ、それを通して、交流が深まりました。

地元
に
い
な
が
ら
海
外
留
学

10年後も
廿日市に
住んでいたい!

みなで理想のまち
を考えていくことで
将来がとても楽しみ
だと思えました。
この様な機会に参
加させていただき、
ありがとうございました。

若者の中でも年齢・性別・職種の違いから
様々な意見が出てきて自分にはない考えを得る
ことができたので非常に面白い経験になりました。
10年後の廿日市市に少しでも貢献でき
ていたら嬉しいです。企画・運営などたく
さんありがとうございました。

10年後を想像する
のが難しかった

編集後記
(若者子ども夢会議に
参加しての感想)

10年後も廿日市
に住んでいたい!

みなで理想のまちを
考えていくことで
将来がとても楽しみ
だと思えました。
この様な機会に参
加させていただき、
ありがとうございました。

若者の中でも年齢・性別・職種の違いから
様々な意見が出てきて自分にはない考えを得る
ことができたので非常に面白い経験になりました。
10年後の廿日市市に少しでも貢献でき
ていたら嬉しいです。企画・運営などたく
さんありがとうございました。

10年後を想像する
のが難しかった

グループ2 日本一訪れたい街で高校生キャリア支援が始動

日本一訪れたい街で高校生キャリア支援が始動

地元企業が高校生を対象に
新たなキャリア支援がスタート

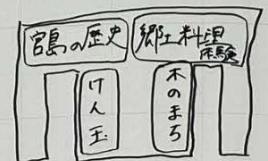
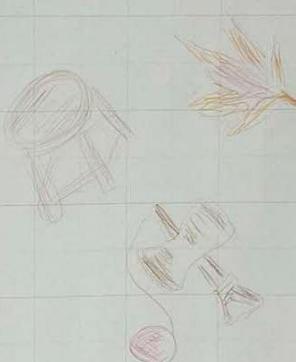
2035年、廿日市にて高校2年生および3年生を対象にした企業見学ツアーが
ついに始まりました。このツアーは市内の大手企業が主導し、地域の若者に地元
企業への理解を深め、将来のキャリアを考える機会を提案することを目的として
います。廿日市の未来を担う次世代に、地元企業の魅力や業
会の現場を直接見学してもらおうと、オープンスタイル
のような形で企業が戸を開き、より多くの学生を受け
入れるプログラムとなっています。

企業側はInstagramやTikTokを通じて積極的に
情報発信を行い、ツアーのスケジュールや見学内容、
さらには現場の様子などを配信。SNSを活用し
た情報発信により、学生たちに企業の実際の働きや
業務内容を身近に感じてもらうことを目指しています。
参加した学生たちは、SNSで気軽に情報をチェックできる利
便性と、企業の雰囲気や職場環境を直接体感できる
魅力に強い関心を寄せています。

ツアーの担当者は「廿日市の企業で働くことがどれだけ魅
力的かを伝えるとともに、若い世代が自身のキャリアを具
体的に考えられるきっかけになれば」と語っています。
地元の産業と若い人材をつなぐこの取り組みが、地域
の未来を築く新しい一歩となることが期待されています。

InstagramやTikTokを通じて
オープンスタイル形式で見学会を実施

日本一外国人観光客が
訪れたい街に



各ブースの見取り図
※廣島神社森標本施設

地元の中高校生と外国人観光客が交流できる
施設が誕生した。
この施設は廿日市の歴史や文化を外国人観光客と
地元の中高校生が学ぶ各ブースが設けられている。
その各ブースでは主にけん玉の由来や起源
宮島の歴史を学ぶことができる。
その他にも、廿日市の食材を使った郷土料理を観光客と
中高生とが一緒に作ることで、実際に食へられる。
また、地元企業と協力して「木のまろはつかいろ」
の特色を活かした家具の展示が設けられている。

国際交流施設
誕生!!



2045年、2610年
後、今年生まれの赤
ちゃんも大人にな
る。どんな街になっ
ていくか楽しみだ。

10年後の廿日市、
新しい活動が始ま
って今よりもっと
にぎわった廿日市
に戻ってきたいです。

沢山素敵な
アイデアが
出てきて驚いた。
10年後とて
楽しみ。

10年後の廿日市が、
今のよりもっと
交流が盛んにな
ることを願って
います。

これからの廿日市が
どう変わるのかが
とても楽しみです。

編集後記
(若者子ども夢会議に
参加しての感想)

2045年、さらに10年
後、今年生まれた赤
ちゃんが成人するころ、
どんな街になっている
か、楽しみです(^-^)

10年後の廿日市、新
しい活動が始まって今
よりもっとにぎわった
廿日市に戻ってきたい
です。

たくさん素敵なアイデ
アが出てきて驚いた。
10年後 とて楽しみ。

これからの廿日市が
どう変わるのかがと
ても楽しみです。

廿日市市、教育改革の新時代へ！！

廿日市市立の小・中・高一貫校が完成！ 周辺の公立学校と地域連携もさかんにも。



2035年4月、廿日市市原地区に小・中・高一貫校が完成した。

この学校は、異年齢グループで活動する選択プログラムが

学校の特徴となっている。例えば、実際に起業や投資を行い事業を運営する授業や、官島観光と一体化して販売される学校とホームステイを通して日本の伝統文化を体験してもらうプログラムを作る授業など、子ども達のやりたいことや得意なことを伸ばす教育課程を設定した。廿日市全域の公立学校も連携した授業を受けられ、市全体の教育の質が「上げ」されるシステムが完成した。

教員待遇UP！ 地域一体で教育の充実へ。

廿日市市教員の給料を大幅アップ

廿日市市では10年前に比べて教員の給料が大幅にアップし、優秀な教員の定着を促進しています。給料の改善は教員のやりがい高め、他の自治体との差別化にも成功。市は将来を担う子どもたちへの投資として教育環境の充実を進めています。また、待遇の向上が教員不足の解消にも寄与し教育の質をさらに高めています。

地域の人材が教室に - 教員サポート制度で広がる学びの場 -
新たに導入された「教員サポート制度」は、地域の専門家や得意分野を持つ住民が学校で授業を行う仕組みです。この制度により、教員が休みを取りやすくなるだけでなく、生徒たちが幅広い知識やスキルに触れる機会が増えています。例えば、地元の農家が「食と環境」について教える授業や元エンジニアがプログラミング講座を開くなど、教科書では学べない実践的な学びが提供されています。

具体的なプランをグループで完成させることができたので、未来があるなと実感しました！！

今回の全3回のプログラムを通して皆さんの思う廿日市市について話すことで廿日市市に対する共通の意識や共通の思いが数多くあることがわかり、私が抱いた思いを皆さんが真摯に受け止めてくれたことが簡単なことですが、うれしかったです。

他の人の意見や夢を聞いて良かった。みんながどのように廿日市を盛りあげていきたいかがわかった

今回を通して新しい価値観が生まれ、充実した3日間でした。新しい出会いもたくさんあり、3日で終わるのが少し寂しいです。また集まれたらうれしいです

普段関わることのない年齢や職種の方々とは廿日市の未来について話す時間はとても充実しており、楽しかったです。考えた未来も複数人で話し合っていくとつくれるような気がしています。子どもたちがいきいきとすごす、全ての方々がお互いの得意を活かせるそんな街にしていきたいです。

編集後記

(若者子ども夢会議に参加しての感想)

グループ4 誰もが住みやすいまち廿日市へ

誰もが住みやすいまち 廿日市へ

ライフステージの変化に対応できる

2035年〇月×日、廿日市市内の各中学校・高等学校で将来の廿日市の生活について、①進学(海外留学を含む)、②就職、③子育て、④介護、⑤生活環境というテーマで選択授業が実施された。



高校1年生 Aさん

私は、廿日市市の子育てについての授業を選択しました。今年も子育てがしやすいまちの上位にランクインしている廿日市市がこれかどのような政策を計画しているのかや、地域の子育てに関する方々の話などを聞いて自分が廿日市市でどのような子育てができるのかイメージが湧きました。私達の世代が親になった時、正しく市のサポートをうけたり、地域で困っている方々と助け合っていくことで今の「子育てがしやすい、廿日市市を維持・発展させていきたい」と思いました。



中学2年生 Bさん

私は、廿日市市で暮らしていく上での生活環境についての授業を選択しました。この授業を受けて、地域のお年寄りかどのように生活しているのか、また今住んでいる地域以外の良さや問題についても知ることができました。授業を受ける中で、将来自分が廿日市に住み続ける姿を想像することができ、改めて生まれ育ったここ廿日市への愛着が湧きました。普段なかなか交流する機会のない外国の方のお話も聞き、それぞれの地域で工夫して暮らしていることが分かりました。私も将来買い物やサポートなどしていきたいなと思いました。

⑤ 生活環境

編集後記

学生さん、全く違う業界で働く社会人の先パイ、色々な方とお話できて楽しかったです。廿日市市の新たな課題も知ることができて、未来の姿がどうなっていくのか楽しみです。

他校の方や実際に社会で働いている方々などのいろいろな観点から見た廿日市の良さと課題を知ることができて、とても学びになったと思います。これから、廿日市市がどのように変化するのが興味をわきました。

誰もが安心・安全な町

今日、廿日市市と震度6の地震が襲った。住民パニックに陥る中、外国人の住民は、全員、安全に避難した。

Handwritten notes and drawings related to disaster preparedness and evacuation. Includes a drawing of a rabbit and a person, and various text blocks discussing safety and evacuation procedures.

・学生さん、全く違う業界で働く社会人の先パイ、色々な方とお話できて楽しかったです。
・廿日市市の新たな課題も知ることができて、未来の姿がどうなっていくのか楽しみです。

他校の方や実際に社会で働いている方々などのいろいろな観点から見た廿日市の良さと課題を知ることができて、とても学びになったと思います。これから、廿日市市がどのように変化するのが興味をわきました。

グループディスカッションを通じて自分の意見に他人の意見を吸収することができました。たくさんの人と話し合うのは楽しく、自分の意見がまちづくりに反映されるかもしれないというやりがいを感じました。廿日市市のよさを再確認すると共に、廿日市市が抱える課題について理解が深まり、自分の意見をもつことができたのは大きな学びだった。若者が意見を発する場は少ないので貴重な体験でした。今後も積極的に参加し続けようと思います。ありがとうございました！

本当に地震などの災害が起きたら…と想像すると現状のままだと、助かる命も助けられなくなるのでは…?と思いました。これを機に、「誰もが住みやすいね」ってなるよう考えていきたいです。

編集後記

(若者子ども夢会議に参加しての感想)